

標 題 | わんぱくらんど収穫祭開催 津和野町農業青年クラブが主催

(ダイジェスト)

12月10日、津和野町農業青年クラブ主催で「わんぱくらんど収穫祭」が開催されました。町内の園児とその保護者約50名が集まり、食農教育の一環として春に田植えをしたもち米を使って餅つき・成形の体験イベントを行い、食への理解を深めました。

津和野町農業青年クラブは、町内の青年農業者を中心に昭和62年に結成された組織で、現在28名の会員により、各種交流、ボランティア活動や町内農産物の通信販売等に積極的に取り組んでいます。

今年の「わんぱくらんど」は5月の田植えに始まり、秋の稲刈りは天候不順で中止になりましたが、無事に収穫を終え、今回の収穫祭を迎えることができました。

石橋会長の「自分たちで植えたものが、どうやって食べ物になるかを学んでほしい」というあいさつの後、イベントが始まりました。園児達は順番にクラブ員の助けを借りて一生懸命に餅つきを体験し、お互いに応援の掛け声をかけるといったほほえましい場面も見受けられました。その後、クラブ員と一緒に餅の丸め方を教わり、苦戦しながらも楽しそうに成形作業を体験しました。そして、出来上がった餅はぜんざいにしてみんなでおいしくいただきました。

こうした活動は、青年農業者の交流拡大や園児・保護者たちの食農教育への理解促進につながる絶好の機会となっており、この活動を通して、子どもたちが食の大切さや農業・農村に関心を深めていってくれることを期待しています。普及部としても継続して活動を支援していく予定です。

餅つき体験



餅の成形作業



園児たちの集合写真

